

主題：神の奥義の執事

メッセージ 4

旧約の預言の成就における神の奥義としてのキリスト（3）

聖書：使徒3:22-23、マタイ21:16、ヘブル10:5-10、13:15

VII. キリストは神によって起こされた預言者です——申18:15、18-19、使徒3:22-23:

- A. 神によって起こされた預言者として、キリストは聖書において最も偉大な預言をしました——「そこでわたしもあなたに言う、あなたはペテロである、わたしはこの岩（キリストのパーソンと啓示）の上に、わたしの召会を建てる、ハデス〔陰府〕の門も、それに勝つことはない」——マタイ16:18。
- B. 神によって起こされた預言者として、キリストは死なれ、復活し、昇天して預言者たちを生み出し、彼らを賜物としてご自身のからだに与えました。それは肢体を成就するためでした——詩68:18-19、エペソ4:11-12。
- C. 神によって起こされた預言者として、キリストはご自身のからだのすべての肢体の中へと分与されました。それは彼らが「みな一人ずつ預言することができるからであり、それはすべての人が学び、すべての人が励まされるためです」——Ⅰコリント14:31、エペソ4:20-21、Ⅱコリント1:3-4。
- D. キリストによって起こされた預言者として、神はご自身の肢体に語り、ご自身の肢体を通して語り、彼らの生活と奉仕においてご自身を彼らの中へと分与し、召会を建造するという最も偉大な預言を成就します——「預言する（主のために語り、主を語り出す）者は召会を建造します」——Ⅰコリント14:4後半、24-25、啓2:1前半。
- E. 神によって起こされた預言者として、キリストはわたしたちの母親の胎からわたしたちの生涯の終わりまでわたしたちを顧みることを約束し、ご自身の御子をわたしたちの中に啓示し、召会を建造するために預言することにおいてわたしたちに機能させます——参照、創48:15-16：
 - 1. わたしたちは主によって、「誕生の時から担われており」、主によって「胎にいた時から運ばれて」います。さらに、彼は言います、「あなたがたが老年になっても、わたしは彼であり、あなたがたが白髪になっても、わたしはあなたがたを担う」——イザヤ46:3-4。
 - 2. 「ところが、母の胎内にある時からわたしを選び分け、ご自身の恵みを通してわたしを召してくださった神が、喜んで御子をわたしの中に啓示し」——ガラテヤ1:15-16前半。
 - 3. 「わたしは、あなたを胎内に形造る前から、あなたを知っていた。あなたが胎から出る前に、わたしはあなたを聖別していた。またわたしはあなたを諸国民への預言者と定めていた……わたしがあなたを遣わすすべての所へ、あ

あなたは行って、あなたに命じるすべてのことを、あなたは語らなければならないからだ」——エレミヤ1:5-7。

VIII. キリストは幼子と乳飲み子によって賛美される方です——詩8:1-2. マタイ21:16:

- A. 詩篇第8篇2節から5節は、どのように幼子と乳飲み子が生み出されるかを見せています:
1. 幼子と乳飲み子を生み出すために、神は肉体と成り、人性を着て、人と成って、御使いたちよりも少し低くなることによって、人を訪れました——4-5節前半。
 2. 神はまた地上で生活し、死んで、死人の中から復活して、昇天して、栄光と誉れを冠として与えられました——5節後半。
 3. 神は、命を与える霊と成ってわたしたちに届き、わたしたちの中へと入るといふ過程の長い旅を通して、人を訪れました——ヨハネ1:14. I コリント15:45後半. 6:17. 参照、I ペテロ2:12. ルカ1:68, 78。
 4. 肉体と成った方は命を与える霊と成りました。そして、この方がわたしたちを再生し、わたしたちを幼子と乳飲み子とし、主を賛美させます。
 5. 幼子と乳飲み子を生み出す過程は、聖別、更新、造り変えで構成されています——ヘブル2:11. ローマ12:2. II コリント3:18。
- B. 主は幼子と乳飲み子の口によって賛美を成就し、力を確立しました。それは、ご自身の仇である敵と復讐する者を封じるためでした——詩8:2。
- C. 神は、幼子と乳飲み子、すなわち、人の間で最も若く、最も小さく、最も弱い者たちを通して、ご自身の敵に打ち勝ちます。これが主の回復であり、勝利です。万物はキリストと彼のからだによって支配され、また万物は彼の足の下に服従させられます——詩8:6-9. エペソ1:19-23。
- D. 幼子と乳飲み子の成就された賛美は、主の働きの究極的な完成です。それは、肉体と成ること、人の生活、詩、復活、昇天、地上に戻って来て支配することから成っています:
1. わたしたちは主を賛美するかもしれませんが、わたしたちの賛美は成就される必要があります。造り変えを通して、わたしたちは主を賛美することにおいて成就されます。
 2. 成就された賛美とは、主の肉体と成ること、人の生活、死、復活、昇天、王国に対する賛美です。
 3. 主を賛美するために、わたしたちはイエスを見、わたしたちの観点を混乱した地から輝かしい天へと向ける必要があります——ヘブル2:9. 12:1-2。
 4. 成就された賛美とは、幼子と乳飲み子の口による力であり、仇、敵、復讐する者を打ち破る賛美です——歴代下20:22. 参照、12節, 20-21節。
 5. わたしたちは彼を通して賛美をささげなければなりません。言い換えると、わたしたちの賛美は彼を通して構成され、彼で構成され、わたしたちが彼を

経験し享受することをもって構成されていなければなりません——15節。詩50:23：

- a. わたしたちはキリストを経過し、キリストを経験し、キリストにあずかり、キリストを享受して、キリストの十分な賛美を得なければなりません——45:1-2。
 - b. わたしたちが主を賛美するとき、これはわたしたちがキリストを享受することについての最高の経験です——22:3。参照、Iテサロニケ5:16-19。エペソ4:30。
- E. 「彼を通して、絶えず賛美のいけにえ、すなわち、御名を言い表す唇の実を、神にささげようではありませんか」。いけにえをささげる原則は、損失に基づいています。神は、わたしたちが損失のただ中でご自身を賛美することを欲しています——ヘブル13:15：
1. わたしたちが毎日、神を賛美することを学んでいないなら、ヘブル人への手紙第13章において語られているような賛美のいけにえを持つことは困難です——使徒16:25。詩119:164：
 - a. 「わたしの口は終日あなたへの賛美で、あなたの栄光で満ちています」——詩71:8。
 - b. 「しかし、わたしは絶えず望み、あなたへのすべての賛美に、さらに賛美を加えます」——14節。
 2. わたしたちが彼を賛美すべきであるのは、彼が賛美にふさわしいからにほかなりません——18:1-3。啓4:11。5:4, 9, 12。
 3. 神は彼の子どもたちがあらゆることにおいて、またあらゆる状況を通して彼を賛美することを願っておられます——詩146:2。48:1-2。
 4. わたしたちは彼が行なっていることを常に理解することはできませんが、主は善 (good) であり、決して悪ではありません——25:8。100:5：
 - a. わたしたちに対する神の心は常に善であり、彼の主権の下で、わたしたちの失敗でさえも益 (good) となります——参照、創50:20。詩51:15。
 - b. 善とはわたしたちが神をよりいっそう得ることであり、彼をよりいっそうわたしたちの存在の中へと造り込むです。それは、わたしたちが造り変えられて、彼のかたちに同形化されるためです——ローマ8:28-29。
- F. キリストは召会の中で彼の兄弟たちと共に集まり、召会のただ中で、兄弟たちと共に、また兄弟たちの中で御父を賛美します——ヘブル2:12。参照、詩48:1-2：
1. 賛美の内在的な性質とは神を大きく表現し、現し、表現することです。
 2. わたしたちが内容としての復活のキリストと共に語り、祈り、歌い、行なうことは何であれ、御父への賛美となります。なぜなら、それは命の源としての彼を大きく表現し、現し、表現するからです——ヨハネ5:26。参照、ピリピ1:20。

IX. キリストは神のみこころを行なうために来られる方です——詩40:6-8. ヘブル10:5-10:

- A. 神のみこころとは、キリストを旧約のすべてのささげ物の置き換えとすることです。それはわたしたちが三一の神の有機体であるキリストのからだを建造するために、からだの生活を生き、実行することにおいて、キリストをすべてとして享受するためです——エペソ1:5, 9, 11. ヘブル10:7-10. ローマ12:2。
- B. キリストが旧約のすべてのささげ物の置き換えであって、すべての旧約の予表を取り去り、彼ご自身をわたしたちのすべてとして打ち立てられたことは神の大いなるみこころです:
1. 旧約がイザヤ書第53章で預言しているのは、キリストが罪のためのささげ物となるために来られたこと、すなわち、レビ人の奉仕に置き換わり、レビ人の奉仕を終わらせるために来られたことです——6, 11, 12節。
 2. 神はキリストのために体を備えられました。それはキリストがご自身を神にささげて、すべてのささげ物と置き換えるためです——ヘブル10:5。
 3. キリストは「第一のもの」、すなわち、旧契約のいけにえを取り去りました。それは彼がご自身を「第二のもの」、すなわち、新契約のいけにえとして打ち立てるためです——9節。
- C. 今日の神のみこころとは、わたしたちがただキリストを享受することです。それは、わたしたちが有機的な救いを通して彼の団体的な複製となることができるためです——I コリント1:9. I テサロニケ5:16-18. ローマ5:10, 8:6。
- D. わたしたちは幕屋、すなわち、入ることができる神であり、また旧約のすべてのささげ物の実際（宇宙の実際、宇宙の内容）であるキリストを享受する必要があります。それは、彼がわたしたちの真実さ、また誠実さとなって、わたしたちが神の求めている礼拝をもって神を礼拝することができるためです——ヨハネ1:14. 4:23-24. 14:17前半。
- E. わたしたちは三一の神の神聖な目標のために、すべてのささげ物の実際であるキリストを日ごとに享受することによって、神の心とみこころにしたがった生活を生きる必要があります。それは、宇宙的で、拡大した神性と人性の合併のために、わたしたちがみな彼ご自身の中へともたされ、わたしたちが彼をわたしたちの住まいとし、わたしたちを彼の住まいとして頂くことのできるためです——ヨハネ14:23. 啓21:3, 22。

© 2009 Living Stream Ministry